

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)
スマートフードチェーン (SFC) 分科会
(グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会分野別研究会 (スマートフードチェーン) 共催)

<第1回分科会のご案内 9/27 (金) 14:30~>

「開発途上国におけるスマートフードチェーン開発の現状と可能性」

1. 分科会設置の背景・目的

日本国内では Society5.0 の実現に向けて、本年4月から農研機構が運営主体として農業データ連携基盤 (WAGRI) が運用を開始したところです。現在、農林水産省、内閣府、農研機構、民間企業や大学等で、スマート育種 (ゲノム育種など)、スマート農業 (ドローン、無人農機、衛星技術等)、スマート加工・流通 (先端マテリアルハンドリング、ブロックチェーン等) と消費 (FINTECH 等) さらには輸出の情報をつなぐ、スマートフードチェーン (SFC) の構築に取り組んでいるところです。

一方、開発途上国を含む海外においても SFC のそれぞれの工程における技術革新・導入は急速に進んでおり、多くのスタートアップ企業が生まれていますが、日本のようにスマートフードチェーンという考え方で進めているケースはまだ少ない状況です。

JICA はフードバリューチェーン開発について注力しており、その中で既にフードバリューチェーンの中にスマート育種、スマート農業に関連する要素技術については、ASEAN、南米などで複数取り入れているほか、アフリカにおける破壊的 Science Technology Innovation (STI) というテーマで、進める調査の中でも農業セクターを主要セクターの一つとして取り組んでおります。また、民間連携事業では先端技術を活用した複数の案件が実施されており、また既に開発途上国政府からも具体的な案件の形成・実施について要望があがっており、日本との共創を志向する国も現れております。

係る状況を受け、今後、個別具体的な案件の形成を進めていく上で、このような先端技術の活用は不可避であり、未だかつていない速度で農村における技術革新が展開されていくであろう中、JICA としては開発途上国の最新のニーズと日本が提供できる技術のマッチングを行う場を創出し、今後のしかるべき案件の形成・実施にむすびつけていきたいと考えております。

なお、本分科会は農林水産省が実施している、グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会分野別研究会 (スマートフードチェーン) との共同開催とします。

2. 第1回分科会の概要

第1回分科会は、「開発途上国におけるスマートフードチェーン開発の現状と可能性」と銘打ちました。第一部では基調講演にて農研機構寺島理事より日本における最新の取り組みをご紹介いただき、そこから開発途上国に

おける展開について具体的なチャンスと課題について発表させていただきます。第 2 部では国・地域、又はテーマに特化した分科会毎の、オープンイノベーションワークショップを通じ、開発途上国への協力・ビジネスについて検討していきます。

今後ますます活動が活発化することが予想される本分野において、国内のステークホルダーが集まりキックオフの議論を行う場となりますところ、皆様ふるってご参加ください。

3. 日時

2019 年 9 月 27 日（金） 14：30～17：30（受付 14：00～）

第一部：14:30～ 第二部：16:00～

4. 場所

JICA 麹町本部 229 会議室

地図：https://www.jica.go.jp/about/structure/hq_access01.html

JICA 国内拠点（帯広、札幌、東北、二本松、横浜、北陸、筑波、中部、駒ケ根、関西、中国、四国、沖縄）と TV 会議接続します。

JICA 在外拠点（タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア、インドネシア等）との TV 会議接続を予定しております。

5. プログラム案

（第一部：14:30～15:50）

- 主催者挨拶
- 基調講演（Society5.0 をめざしたスマート農業と SFC の取り組み）/農研機構 寺島理事
- SFC に関する JICA の取り組みと開発途上国のニーズ/JICA 農村開発部
- 事例紹介
- 質疑応答
- 第一部終了～休憩

（第二部：16:00～17:30）

オープンイノベーションワークショップ（TV 会議接続無し、10 人×4～6 分科会）

分科会（予定）：①アジア地域②南米地域③アフリカ地域④衛星技術活用⑤スマート物流⑥日本国内における途上国向け人材育成（研修事業）

- 課題の発表（ファシリテーター）

- グループディスカッション
- グループディスカッション討論内容の発表
- まとめ、閉会の挨拶

6. 参加対象者

開発途上国におけるスマートフードチェーンを活用した事業展開に関心のある民間企業・業界団体、大学・研究機関等。

なお、会場の都合上、参加応募者多数（本部会議室のキャパシティは最大 80 名程度）の場合は、1 社あたり参加 1 名限定、先着順とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。また、本分科会への参加をご希望で、JiPFA に登録されていない皆様は、

是非 JiPFA への会員登録をお願いいたします。JiPFA のご登録は[こちら](#)をご覧ください。

7. 参加お申込み方法

2019 年 9 月 20 日（金）までに、必要事項（①分科会名：SFC、②所属先、③所属部署・役職、④ご出席者氏名、⑤ご連絡先：電話番号及びメールアドレス＝申込時アドレスと異なる場合、⑥第 2 部への参加希望及び参加希望分科会）をご記載の上、下記担当宛に電子メールにてお申し込みください。

本分科会には、日本国内にある JICA の拠点から TV 会議による参加も可能です。TV 会議での参加をご希望の方は、該当の国内拠点名（「4. 場所」の JICA 国内拠点参照）と TV 会議参加希望と記載ください。

8. お申し込み先

独立行政法人 国際協力機構（JICA） 課題部支援ユニット

メールアドレス：Kadaishien_chosei@jica.go.jp

（注）頂いた個人情報は、本分科会に関するご連絡にのみ使用させていただきます。

本分科会へ参加をご希望で「グローバル・フードバリューチェーン（GFVC）推進官民協議会」にメンバー登録されていない皆様は、是非ご登録をお願いします。

GFVC 推進官民協議会は、企業の皆様の海外展開を支援するため、農林水産省が設置している協議会です。日本企業の皆様の有する技術やノウハウを活用した、途上国・新興国での FVC 構築を相手国政府と協力して推進しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/food_value_chain/about.html#registration

10. 本件照会先等

ASEAN・FVC 分科会事務局

JICA 農村開発部第 1 チーム

村尾 あかり E-mail : Murao.Akari@jica.go.jp

Tel : 03-5226-8416